



撮影 筋ジストロフィー病棟写真クラブ

## 病院長ご挨拶

病院長 石毛 尚起



皆様、あけましておめでとうございます。2019年四街道は、晴れた穏やかな正月で幕をあげました。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

下志津病院には明治30年発足からの長い歴史があり、1945年12月に軍の施設（下志津衛戍病院）から国立の施設に移管されて国立療養所下志津病院となり、

その後、2004年4月に国立病院の独立行政法人化に伴い、今の国立病院機構下志津病院と名称が変わり、国からの予算で運営する体制から、各病院独自に運営する体制の病院になりました。

この間、とくに筋ジストロフィー医療、重症心身障害医療につきましては、これまで半世紀以上の診療実績があります。筋ジストロフィー医療は1964年日本で最初にその入院診療を始めた2病院のひとつで、多職種による最良のチーム医療を提供しております。50周年を迎えた2014年には、記念の式典を行わせていただきました。重症心身障害医療も、2017年に50周年記念式典を開催させていただきました。これまで入院治療の他に、短期入所事業、日中一時支援事業、児童発達支援事業など在宅支援の取り組みも積極的に行っています。在宅支援のための相談支援事業所「かけはし」も4年前に開設しました。

下志津病院はまた、一般診療でも特徴ある医療を提供しております。小児喘息・アレルギー、リウマチ・膠原病や、それらに関連した整形外科診療、あるいは消化器内科、神経内科、外科など専門的な医療を提供できる施設でもあります。今年1月よりは、これまであったリウマチ膠原病センター（杉山隆夫センター長、リウマチ科）に加え、リウマチ関節外科センター（山中一センター長、整形外科）、小児アレルギー膠原病センター（富板美奈子センター長、小児科）、療育発達支援センター（石原あゆみセンター長、小児神経科）、神経・筋疾患センター（三方崇嗣センター長、神経内科）と新たに4つ

のセンターを開設致しました。さらに数多くの患者さんに高度な医療を提供できますように努めてまいります。また、外科・内科では各種住民健診も請け負っており、脳神経外科では脳ドックも行っております。小児科では、小児2次救急にも力を注いでおります。

近年、人口の急速な高齢化が進み、医療介護制度の大幅な変革が進められています。千葉市周辺地域は、2025年までに、医療必要度で25%増、介護で100%増、2倍の需要が見込まれております。これからは、ひとつの病院で超急性期医療から慢性期医療までを行う一病院完結型でなく、地域の中で病院や施設の役割を分担連携して地域包括ケアシステムを構築し、高齢化による医療介護のニーズの増加に対応しようと国は進めています。

そんな中、下志津病院では、2015年7月に地域包括ケア病棟を開設しました。高度急性期病院あるいは急性期病院、病棟などでの密度の濃い治療を受けられた患者さんが、自宅または地域に戻るための継続診療、あるいは在宅や施設におられる方が少しの間入院診療が必要になった場合の受け皿の役割を担う病棟であります。開設に当たり、浴室・トイレ・洗面室を、ご自宅へ帰る準備ができるように改装させていただきました。四街道市から委託されました在宅医療介護連携支援センターも地域の医療と介護の連携を深めるべく、活動をしており、また昨年、病児・病後児保育も開始し地域の方にご利用いただいております。

また、地域医師会との病診連携を目的としたカンファレンスを年2回開催したり、地域の各種診療施設、介護施設等と意見交換を行う地域連携の会を年4回開催して連携を深めたり、また、下志津祭りという住民の皆様向けのイベントを年2回開催したりなど、活気ある活動も行われています。

医療関係者の教育研修活動にも積極的に参加しております。研修医の受け入れの他、医師、薬剤師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、保育士、栄養士、理学療法士、作業療法士などをめざす各部門の実習生の受け入れも行っており、地域や千葉医療センター付属看護学校などへの講師派遣も増加しているところです。

また下志津病院には、1956年に千葉大学教育学部の女子学生が、入院中で学校に通えない児童に勉強を教えにきた（ベッド教室）ことに始まる医療ボランティアの歴史があります。これが日本で最古の医療ボランティアではないかと思われ、現在も多くの医療ボランティアの皆様が当院で活動いただいております。毎月開催されているボランティアによるロビーコンサートは10年以上継続されており、また毎年8月に開催する下志津フェスティバルでは1日で100名近くのボランティアの方にご協力いただいております。

下志津病院は、ことし病院創設74回目の正月を迎えましたが、さらに病院機能を高めて、80歳を迎える時にも皆様から信頼が増したと評価していただけるように努力したいと考えております。どうぞこれからもご支援、ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

# リウマチ膠原病センター

## 1) 概要

下志津病院では関節リウマチおよび膠原病診療は30年前に始まりました。1996年には国立病院としてはじめてリウマチ科を標榜し、2012年12月にはリウマチ膠原病センターが設立されています。このため、リウマチ・膠原病領域の診療経験が豊富であり、多くの患者さんが入院・通院されています。最近、リウマチ膠原病領域の診断・治療の進歩には目覚ましいものがありますが、下志津病院でも最新の知見をとりいれて、患者さんの診療にあたっています。

## 2) 対象疾患

関節リウマチをはじめとした膠原病です。膠原病は一つの病気の名前ではありません。クレンペラー博士が血管・結合組織にフィブリノーゲン壊死と膠原繊維の変性と増生を認める全身性疾患を「膠原病」と名付けました。

単一臓器の心臓病・腎臓病などと呼ぶことのできる疾患分類に当てはまらない病気で、発熱・関節痛・倦怠感などの全身症状とともに皮膚・多臓器に炎症を起こすものが「膠原病」とされています。

オリジナルのものは全身性エリテマトーデス (SLE)・関節リウマチ (RA)・全身性強皮症 (SSc)・多発性筋炎/皮膚筋炎 (PM/DM)・結節性多発動脈炎 (PN)・リウマチ熱 (RF) の6つです。

RA患者さんが、私はリウマチで膠原病ではないと言ったり、SLE患者さんが、私の病名は膠原病だと言ったりしますが、膠原病という単一の病気があるわけではなく、いくつかの病気のグループが膠原病です。

膠原病は症状として関節や筋肉の痛みなどが出ることから、①「リウマチ性疾患」の要素、原因としては自己免疫が関与していることから、②「自己免疫性疾患」の要素 (リウマチ熱は溶連菌感染が自己免疫を起こす直接の原因であることが今ではわかっていますが、ほかのものはまだ直接の原因はわかりません)、炎症の起こる場所が結合組織であることから、③「結合組織疾患」の要素、以上の3つの要素がある病気です。

この3つの要素を持つ病気はほかにもあり、「膠原病類縁疾患」と言われています。

この中にはシェーグレン症候群 (SS)・混合性結合組織病 (MCTD)・悪性関節リウマチ (MRA)・高安動脈炎 (TA)・巨細胞性動脈炎 (GCA)・顕微鏡的多発血管炎 (MPA)・肉芽腫性多発血管炎 (GPA)・好酸球性肉芽腫性多発血管炎 (EGPA)・リウマチ性多発筋痛 (PMR)・成人発症スティル病 (AOSD)・強直性脊椎炎 (AS)・乾癬性関節 (PsA) などがあります。

ベーチェット病も含まれる場合がありますが、これは原因が自己免疫とは多少違う、自己炎症性疾患です。

## 3) 診療体制

常勤スタッフ (日本リウマチ学会指導医1名、専門医6人)が入院を担当し、外来はこの7名に非常勤 (専門医)1名を加えた8名で新患・再来を担当します。

## 4) 受診方法

新患時には予約は必要ありませんが、午前11時までに受付を済ませてください。

紹介状の持参が望ましいのですが、ない場合も受付しております。

再来は予約になりますが、各担当医の指示に従ってください。

リウマチ膠原病では受診当日の検査結果をみて診察することが多く、待ち時間が多少長くなりますのでご了承ください。



# リウマチ関節外科センター

## ●リウマチ関節外科センターの概要

リウマチ関節外科センターでは3名の整形外科リウマチ専門認定医を中心に関節リウマチや変形性関節症の手術やリハビリテーションなどの診療を行っております。3名は千葉大学整形外科、及びその関連病院でリウマチ関節外科の診療、研究を行ってきた経験豊富な医師です。

現在も千葉大学整形外科とその関連病院の関節外科専門医と共同で手術も行っております。

さらに2名の整形外科学会認定専門医と計5名で入院、外来診療を行っております。

(リウマチ関節外科センター長 山中 一)



## ●リウマチ関節外科センターの主な診療の内容

- ①人工関節手術 (人工股関節置換術 人工膝関節置換術 人工肘関節置換術)
- ②滑膜切除術 (手関節 肘関節 膝関節 足関節)
- ③外反母趾矯正手術 足趾形成術
- ④手指腱断裂の縫合術と手関節形成術
- ⑤創傷 (きず) の治療
- ⑥骨折などの関節外傷の手術

## ●診療体制

紹介状がなくても受診できます。整形外科一般外来内での受診です。

月曜日 午前中 山中 玉井 火曜日 午前中 玉井

木曜日 午前中 山中 小林 金曜日 午前中 小林

※午後は予約の方のみの診療です。水曜日は手術日でリウマチ専門医が担当しない日があります。初診の患者様は事前に電話にてお問い合わせ下さい (代表: 043-422-2511 から整形外科外来に電話をつないでもらってください)。

※予約の患者様が受診優先となりますので、日によってはお待ちいただく時間が長くなる場合があります。

## ●担当医師

- |       |             |  |
|-------|-------------|--|
| 山中 一  | 手術部長、整形外科医長 | 日本整形外科学会認定専門医、日本整形外科学会認定リウマチ医、日本リウマチ学会認定医 指導医 評議員、日本人工関節学会 評議員、日本リウマチの外科学会 評議員、日本リウマチ財団登録医、千葉リウマチ医の会 世話人、医学博士 (千葉大学) |
| 玉井 浩  | 整形外科医長      | 日本整形外科学会認定専門医、日本整形外科学会認定リウマチ医、日本リウマチ学会認定医 指導医、日本リウマチ財団登録医、医学博士 (千葉大学)  |
| 小林 達也 | 整形外科医師      | 日本整形外科認定専門医、日本整形外科学会認定リウマチ医、日本リウマチ学会認定医、医学博士 (千葉大学)  |

# 小児アレルギー膠原病センター

## 1) センターの概要

アレルギー疾患や膠原病（リウマチ性疾患）は、からだを病原体から守る免疫のしくみの一部がうまく働かないことにより発症すると考えられています。様々な合併症を抱えることも多く、免疫のしくみの理解のもとに、全人的なケアが求められます。

当センターは小児アレルギー疾患の基幹施設として、また、全国でも数少ない小児科専門医資格をもつリウマチ学会認定専門医・指導医の所属施設として、アレルギー疾患・リウマチ性疾患のお子さんの診療を行います。

アレルギー疾患においては、医師だけでなく小児アレルギーエドゥケーターが診療に関わることで、お子さんと保護者の方の生活の質の向上を図ります。

小児リウマチ性疾患、類似する症状を呈する自己炎症性疾患の診療では、高次医療施設と連携し、最新の医療を提供します。また、リウマチ膠原病センターと連携することで、思春期以降の患者さんの内科への移行もスムーズに行うことができます。

当院には、四街道特別支援学校が併設されており、治療のため学校生活が困難な患者さんでも、学校と連携を図りながら教育を受けられる機会を確保しています。

日本アレルギー学会、日本リウマチ学会の専門医教育研修施設として、専門医や小児アレルギーエドゥケーター資格を持つ看護師、薬剤師、栄養士の育成を行います。医療の発展につながる薬の治験や研究、治療管理ガイドラインの作成への協力も積極的に行っていきます。

## 2) 対象疾患

- \*小児アレルギー疾患：気管支喘息（小児喘息、乳児喘息）、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、花粉症など
- \*膠原病：若年性特発性関節炎、全身性エリテマトーデス、若年性皮膚筋炎、シェーグレン症候群、混合性結合組織病、高安動脈炎、川崎病、IgA 血管炎を含む血管炎症候群など
- \*自己炎症性疾患：家族性地中海熱、PFAPA 症候群など
- \*先天性免疫不全症：先天性無ガンマグロブリン血症など

## 3) 診療体制

月～金：アレルギー疾患 木：膠原病新患

- \*膠原病患者さんの再来は、受診されたときにご相談いたします。

## 4) 検査

血液検査、尿検査、呼吸機能検査（フローボリュームカーブ、気道抵抗試験、呼気中 NO 測定、気道過敏性試験）、皮膚テスト（プリックテスト、パッチテスト）、食物経口負荷試験、レントゲン、超音波検査、CT、MRI など

## 5) 受診方法（診療の案内）

紹介状をご用意いただき、地域連携室へご連絡ください。新患外来の予約をお取りします。

初診時はゆっくりお話を伺います。再来日はご相談のうえ決定します。

## 6) スタッフ

アレルギー外来：渡邊博子、冨板美奈子、佐藤一樹、松浦朋子、鈴木修一、伊藤直香、奥井秀由起

膠原病外来：冨板美奈子、鈴木修一

# 療育発達支援センター

## 1) 診療内容

療育発達支援センターでは、発達障害（神経発達症）を含む発達の相談と、重症心身障害の二本立てで、診療を行っています。どちらにも共通することは、発達の心配や、重い障害があっても、笑顔で生活できるよう、お手伝いしたいということです。そのために、心理士やリハビリスタッフ、ソーシャルワーカーなど多職種で関わったり、必要に応じて、保育園・幼稚園・学校や保健センターなどと連携して、よりよい対応策を考えていきます。

### <発達相談>

首のすわりから歩行までの運動発達の遅れ、言葉の遅れ、落ち着きがない、かんしゃくが多い、友達とのトラブルが多い、学習の遅れ、不器用、不登校、など発達全般のご相談に対応しています。

### <重症心身障害>

18歳以前に発症し、重度の知的障害と重度の肢体不自由を重複している方が対象となります。

在宅呼吸器を含め、在宅で過ごしている方の外来診療を行っています。

その他、当院には、120床の入所病棟、通園「ひまわり」、相談支援事業所「かけはし」があり、療育指導室と共に入所支援、在宅支援を行っています。また、15歳未満の方に対しては、小児科病棟でも、一時支援入院、在宅移行支援（NICUや急性期病院から在宅に退院するための中間施設の役割）を行っています。

## 2) 関連部署

- ・リハビリテーション科（臨床心理士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）
- ・療育指導室（児童指導員、保育士）
- ・通園ひまわり（重症心身障害の方対象の生活介護、児童発達支援）
- ・相談支援事業所かけはし（重症心身障害の方対象）
- ・摂食外来（非常勤歯科医、月2回）

## 3) 外来診療のご案内

受診をご希望される場合は、必ず地域医療連携室にてお電話で予約をお願いします。

### <発達相談>

- ・初診は中学3年生までとさせていただきます
- ・紹介状がなくても、受診可能です（転居などで、前医に通院していた場合は、紹介状をお持ちください）
- ・3歳以上のお子さんは、初診時に心理療法士による面談（約1時間）のあと、医師による診察を行います
- ・発達検査が必要な場合は、後日検査となります。初診時は聞き取りに時間をかけるため、同日に検査はできないことをご了承ください
- ・心理的な心配が大きい場合は、他院の児童精神科へご紹介することがあります。

### ○持ち物（可能な物だけで構いません）

- ・母子手帳（育児日記など、小さい頃の様子がわかるもの）
- ・他機関で行なった発達検査の結果
- ・サポートファイル
- ・学校で使っている連絡帳やノート（国語、算数等）
- ・保育園、幼稚園、学校の様子を、担任の先生に書いていただいたもの（簡単なメモで構いません）

### <重症心身障害>

- ・年齢は問いません
- ・短期入所、通園をご希望される方は、事前に外来受診をお願い致します。外来にて、お子さんの状態やケア内容を確認させていただき、児童指導員により病棟・通園見学、サービスの契約を致します
- ・現在NICUや急性期病院に入院中の方で、当院の在宅移行支援を希望される場合は、入院している病院のソーシャルワーカーを通じて、当院の地域医療連携室にご連絡ください。

### ○持ち物

- ・身体障害手帳
- ・福祉サービスの受給者証（お持ちの方）
- ・主治医からの紹介状

## 4) スタッフ

石原あゆみ 役職：小児科医長、療育発達支援センター長 専門分野：発達障害、重症心身障害

大森 佳子 役職：小児科非常勤医 専門分野：発達障害、重症心身障害

山本 重則 役職：副院長 専門分野：先天代謝異常、重症心身障害

眞山 義民 役職：小児科常勤医 専門：先天代謝異常、重症心身障害



# 神経・筋疾患センター

## 1) 概要

1964年5月当院と西多賀病院に20床の筋萎縮病棟が設けられ、その後旧国立療養所27施設に筋ジストロフィー病棟が整備されました。

当院は以後50年以上にわたり一貫して筋疾患の臨床経験を重ねてきており、看護やリハビリテーションなどのコメディカルの経験も蓄積されています。

最近の医学の進歩に伴い、様々な疾患への新規治療薬が開発され、末梢神経疾患筋疾患に於いても根本治療につながる様な薬も開発されつつあります。これらは単一の疾患が標的になるために正確な診断が必要です。また、進行している方への効果は限局的にならざるを得ません。

筋ジストロフィーのみならず他の筋疾患や末梢神経疾患に診療対象を拡大し、新しい治療薬に対応すること、進行した方の機能を可能な限り維持すること、診断をできる限り正確に行うこと、が当センターの目的となります。

## 2) 対象疾患

筋ジストロフィーを代表とする筋疾患

遺伝性末梢神経障害、慢性炎症性脱髄性多発神経炎（CIDP）などの非遺伝性末梢神経障害

## 3) 検査

電気生理学的検査、画像診断、末梢神経筋病理診断、保険適応の遺伝子診断が可能です。

当院のみにて診断困難な場合は、東京大学神経内科神経病理部門などの国内他施設と共同して診断に当たります。

## 4) 受診方法

火曜、水曜、金曜が神経内科の外来日に受診してください。

初診の予約は、当院の地域医療連携室において承っております。

かかりつけの先生に御相談ください。

なお、一般の初診の予約は取っていませんのでご注意ください。

## 5) スタッフ

### 医師

三方 崇嗣 センター長 日本神経学会専門医・指導医  
神経内科医長 身体障害者福祉法指定医

本吉 慶史 臨床研究部長 日本神経学会専門医・指導医・代議員  
身体障害者福祉法指定医

内田 以大 神経内科医師

田中 信行 神経内科医師 日本神経学会専門医

### リハビリテーション部門

萩原 理学療法士長、峰島 理学療法士、吉田 作業療法士長、川崎 言語聴覚士

# 「ウィンターフェスティバル」を開催して

庶務係長 田中 聖

平成30年11月17日(土)に、当院の向かいにありますイトーヨーカドー四街道店にて、ウィンターフェスティバルを開催致しました。毎年2回(サマー、ウィンター)開催しており、今回も「もっと健康になろう!!」をテーマに、健康相談、栄養相談、お薬相談、骨密度測定、体脂肪測定、血管年齢測定、握力測定等を実施致しました。

開催の数日前に、イトーヨーカドーより「調整した結果、当初より良い場所が確保できた」とのご連絡をいただき、正面玄関から見える場所に変更していただきました。分かりやすい場所となったため、前回6月のサマーフェスティバルよりも多くのお客さんにお越しいたいただき、前回よりも多めに準備していた配布資料が全てなくなるほどの盛況ぶりでした。

お客さんからは「普段はなかなか検査することがないので良い機会となった」「無料で検査でき、かつ相談もできて良かった」「また次回も開催してほしい」等のご意見・ご感想をいただき、今回も好評のうちに幕を閉じました。

いつもより場所が狭く、レイアウトや導線について苦労しましたが、誘導・案内係が活躍したため流れも良く、前回の課題であった待ち時間も短縮し、改善されたように思われます。次回は5～6月開催の予定ですが、さらにスムーズな実施となるよう事前準備をしっかりとし、近隣住民の方の健康のお役に立てるよう職員一丸となって頑張りたいと思います。

最後になりましたが、毎回開催場所を提供して下さるイトーヨーカドーの方々には感謝申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。

(写真は過去のイベントのものとなります)





受付時間

8:30~11:00

# 外来診療担当表

独立行政法人 国立病院機構 下志津病院

平成31年1月1日~

区分	月	火	水	木	金
内科 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">                     一般内科                      消化器科                      泌尿器科                      リハビリテーション科                 </div>	杉本 古川 富澤 大野 (PM)	山崎 篠川 古末 横山 (AM) 山形 (PM)	吉田 (隔週) 川澤 古末 石木 波	杉山 杉本 篠崎	杉山 杉本 乗本 (綾) (AM)
アレルギー科(成人) (喘息)					岩本 (AM)
睡眠時無呼吸外来※			梅岡 (PM) (第2・4のみ)		
禁煙外来			鈴木 (修) (PM)		
脳神経外科	石毛	石毛	深谷	深谷	石毛・深谷 (交代制)
神経内科		本吉 三方	本吉		本吉 三方
小児神経科※	大森		石原		
小児科※	一般 喘息・アレルギー 腎臓・肥満・代謝  眞山 (義) 渡辺 中村 鈴木 (修) (AM) 交代制 (女子医大)	一般 喘息・アレルギー  富板 奥井 松浦 佐藤 (一) 須藤 鈴木 (由) (PM)	一般 喘息・アレルギー 代謝  山本 (重) 鈴木 (修) (AM) 鈴木 (由) (AM) 関谷 玉地	一般 喘息・アレルギー 腎臓・肥満  長谷川 (敦) 渡辺 中村 佐藤 (一) 交代制 (女子医大)	一般 喘息・アレルギー 腎臓・肥満  奥井 石原 中村 鈴木 (修) 須藤
				小児膠原病 富板 (PM) (初診予約のみ)	
外科	横田	一木	白井	長谷川 (留) (予約患者のみ) 白井	白井 (予約患者のみ) 長谷川
整形外科	山中 佐藤 (崇) 玉井	佐藤 (崇) 玉井 江口	交代制 初診の方のみ (9:30から診察開始)	小林 山中	鈴木 (宗) 小林 (第2・4) 交代制 (第1・3・5) 江口
リハビリテーション科	三方 (指定する日)				

- ※ 小児神経科の初診の方
  - ※ 小児科・アレルギー科 (小児) の食物アレルギーと喘息評価宛の紹介状をお持ちの方
  - ※ 小児膠原病 (初診予約のみ) は毎週水曜日 14:00~15:30 に行います。
  - ※ 睡眠時無呼吸外来は、1日5名までの完全予約制です。
  - ※ 精神科・皮膚科・循環器内科・歯科・耳鼻科・眼科は、主として入院患者を診察しています。
- } 完全予約制ですので地域医療連携室へお問合せ下さい。

四街道市 乳児健診	健診は第4木曜日14:00から行います。健診当日は13:15~13:45までに受付をお済ませください。 予約のお問合せは企画課(医事)窓口と電話にて受付しています。予約受付は、平日13:30~16:00までです。
睡眠時無呼吸 外来	毎週第2・4水曜日、14:30~17:00に行います。受診日の16:00までに受付をお済ませください。 初診・再診とも完全予約制です。地域医療連携室にご連絡ください。
禁煙外来	毎週水曜日、15:00~16:00に行います。 初診・再診とも完全予約制です。地域医療連携室にご連絡ください。



- JR 四街道駅  
北口下車 徒歩8分  
JR 総武本線東京駅 (千葉経由) から四街道駅まで約50分
- 京成臼井駅  
京成電鉄京成臼井駅から千葉グリーンバス  
「四街道駅行き」に乗車 (約25分) 「消防署前」下車、  
徒歩1分
- 東関東自動車道  
「四街道インター」から約5分 (3Km)



独立行政法人 国立病院機構 **下志津病院**  
〒284-0003 千葉県四街道市鹿渡934-5  
電話: 043-422-2511 FAX: 043-421-3007  
ホームページ <https://www.nsh.gr.jp/>



第18号  
平成31年1月発行

発行責任者 石毛 尚起  
編集委員長 山本 重則